

小学6年生 算数 速さ・距離・時間001 速さ × 時間 = 距離 (道のり) 001

小学6年生の中盤から後半にかけての算数で最もつまづく人が多いのがこの分野です。

理解できないままに、ハジキなどという言葉のみで計算していると、その時は出来ても応用問題ができなかったり、時が経つとわからなくなる場合も多いと思います。

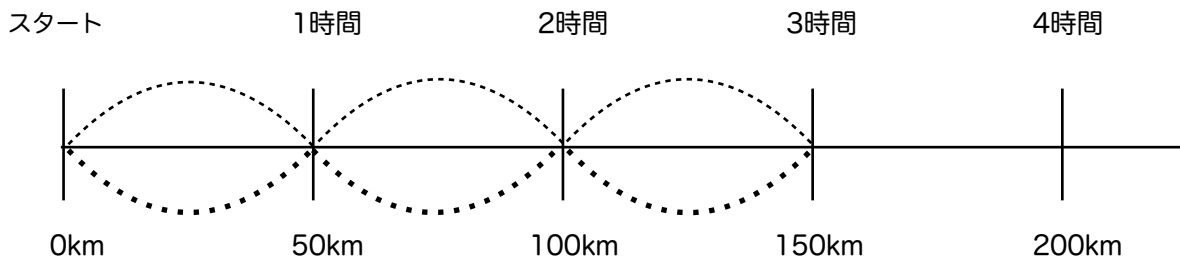
このページでは基本の図解で時速の問題を理解できるようにやってみましょう。

第1弾！まずは 速さ × 時間 = 距離 (道のり) を覚える！

実は大事なことは、この式をしっかり理解することです。これができればこの分野の基本はほとんどクリアしたようなものです。例題でやりながら確認していきましょう。

例題A : 時速50kmで走る車は、3時間で何km走りますか？

確認 : 時速とは1時間にどのくらいの距離を進むのか ということですから、時速50kmで走る車は、1時間に50km進むということです。



このように図にしてみると、^{いちもくりょうぜん}一目瞭然ですね。

時速50kmで 1時間走ると 50km
 2時間で 100km
 3時間で 150km となりますね。つまり

速さ × 時間 = 距離 (道のり) となるのです。

時速50km × 3時間 = 150km となります。

式 $50 \times 3 = 150$ 答 150km

例題B : 時速80kmで走る電車が、4時間で走る距離 (道のり) を求めなさい。

式

答え

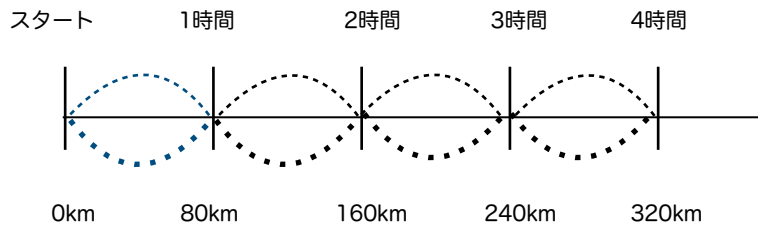
(例題Bの解答と解説は次のページにあります。)

小学6年生 算数 速さ・距離・時間001 速さ × 時間 = 距離（道のり）002

例題Bの解答と解説 : 時速80kmで走る電車が、4時間で走る距離（道のり）を求めなさい。

式 $80 \times 4 = 320$

答え 320km



ココがポイント！ 1時間で80km進むというのを図のようにイメージできるようにしよう。
まだいまいち理解できない人は、前のページの図と比べてみてください。
1時間で進む距離（道のり）の違いに気が付くと思います。

例題C : 時速60kmで走る電車が、1時間20分で進む距離（道のり）を求めなさい。

速さ × 時間 = 距離（道のり）ですから、
60 × 1時間20分 = 距離 ですが・・・

さきほどまでは、時間が整数だったので、3や4をそのままかければ良かったのですが、
1時間20分だとどうしたらいいのでしょうか？

こんな時に便利なのが分数です。分数を使って時間を表します。

20分を分数で表すと・・・ $\frac{1}{3}$ 時間ですね！

右の図のように円にして表すとわかりやすいと思います。

60分＝1時間ですから、20分は $\frac{1}{3}$ 時間、40分なら $\frac{2}{3}$ 時間です。



1時間20分は、1時間が $\frac{3}{3}$ 時間で 20分は $\frac{1}{3}$ 時間 ですから、

$\frac{4}{3}$ 時間 ですね！ これで計算しやすくなります。

式 $60 \times \frac{4}{3} = 80$

答え 80km

小学6年生 算数 速さ・距離・時間001 速さ × 時間 = 距離（道のり） 003

これまでの例題と解説でやったことを次の例題をやって確認してみましょう。

（解答と解説はこのページの下の方にあります。）

例題D : 時速20kmで走る自転車が、6時間で進む距離（道のり）を求めなさい。

式

答え

例題E : 時速80kmで走る電車が、1時間45分で進む距離（道のり）を求めなさい。

式

答え

解答と解説

例題D : 時速20kmで走る自転車が、6時間で進む距離（道のり）を求めなさい。

式 $20 \times 6 = 120$

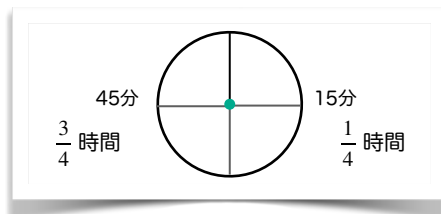
答え

この問題をすぐに解けない方は、もう一度1ページ目に戻って学習しましょう。

120km

例題E : 時速80kmで走る電車が、1時間45分で進む距離（道のり）を求めなさい。

式 $80 \times \frac{7}{4} = 140$



ポイントは、1時間45分を分数で表すことです。

例題Cと同じく円の図にしてみるとわかりやすくなります。

45分は $\frac{3}{4}$ 時間ですから、1時間45分は $\frac{7}{4}$ 時間となります。

答え

140km